



議 会 報 告 第 8 号

(ホームページもご覧下さい <http://www.ojima-shinichi.com/>)

筑西市下野殿 801-1 TEL0296 (24) 8951

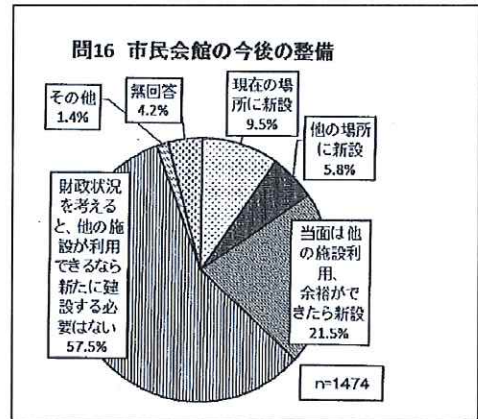
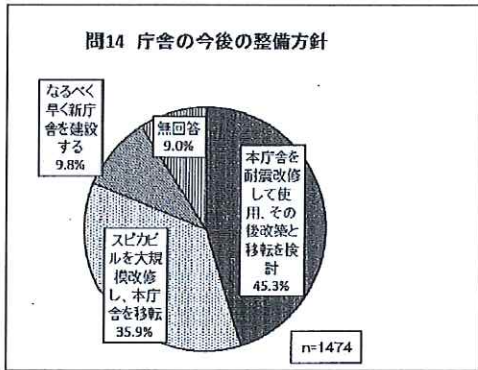
市議会議員 小島 信一



3 月定例会より 報告 (25 年第 1 回定例会)



市民アンケートの結果——抜粋



筑西市では、昨年9月に市民アンケート調査を行いました。公共施設の適正配置を市民に問うものです。結果についての印象は、市民の多くは市財政の現状を厳しいものと捉え、新たな公共施設の建設に慎重ということです。

市役所本庁舎の整備については、耐震改修工事をして利用するがもっとも多く(45%)、次いでスピカビルへ移転(35%)となっており、なるべく早く新築移転は約10%です。

市民会館については、他の施設を利用できるなら新たに建設する必要はないが最も多く(57%)ついで当面は他の施設を利用し余裕が出来たら新設(21%)となっています。「早期に新設」は15%にすぎません。

議会は、昨年1月、スピカビルの在り方について、本庁舎として利用することを多数意見として要望しました。同時期に、議会は市民会館を早期に再建する請願を採択しています。しかしアンケートでは反対の結果です。議会において、アンケート調査特別委員会が設置され、誘導的設問や不適切な数値・表現が指摘されました。しかし、市民の感覚の大まかな姿、共通項は十分とらえることは可能だと思います。市民の声が出ているのです。真摯に受け止めなければなりません。これを否定するのであれば、議会の存在が問われます。

平成25年度予算総括表

(単位:千円)

会計別	本年度予算額	前年度予算額	比較	伸び率(%)
一般会計	38,100,000	36,500,000	1,600,000	4.4
特別会計	25,284,544	24,498,312	786,232	3.2
国民健康保険	12,423,126	12,220,707	202,419	1.7
後期高齢者医療	1,769,157	1,720,955	48,202	2.8
公共下水道事業	2,363,652	2,337,175	26,477	1.1
農業集落排水事業	692,991	702,091	△9,100	△1.3
八丁台土地区画整理事業	397,723	306,086	91,636	29.9
駐車場事業	33,084	32,368	716	2.2
介護保険	7,588,643	7,114,791	473,852	6.0
介護サービス事業	66,169	64,139	2,030	3.2

一般会計	381 億円
特別会計	252 億円
企業会計	38 億円
(病院会計 18 億円)	
(水道会計 20 億円)	
合計	671 億円

収入の主なもの	
市 税	141 億円
地方消費税	10 億円
他税交付金	8 億円
地方交付税	71 億円
国・県支出金	66 億円
市 債	39 億円
(借金)	

一般会計から企業会計、特別会計への主要支出

市民病院会計	7 億 3000 万円
国民健康保険会計	8 億 6000 万円
後期高齢医療会計	11 億 2000 万円
介護保険会計	11 億 3100 万円
公共下水道会計	11 億 3500 万円

11 万都市一筑西に相応しい市長選を



パート 2

選挙モードが高まってきています。両陣営とも選挙事務所を構え支持者を集めて氣勢を上げています。現市長陣営の配布する印刷物は大変立派で 4 年間の実績を謳い上げています。対立予定者は、A 4 判の印刷物が 2 種類、それなりの公約を提示しています。しかし、現在の筑西市が抱える問題に対して、市民が選択できるような公図になっているとは思えません。人口減少問題を抱えた筑西市の将来を見据えた都市構想、重要公共施設の配置、それには緩やかな発展を目指すのか、縮小・減退を受け入れるのかで違ってきます。また、財政問題では、増え続ける社会保障費（医療費、介護費）、減少する財源（地方交付税交付金、市税）、何らかの行政サービス事業は縮小ないし合理化しなければなりません。どう対処するのでしょうか。喫緊の課題もあります。地域医療すなわち市民病院問題です。実現怪しい新中核病院をいつまで追い求めるのか、実現可能な代替案を示せないのか、さらには、スピカビル活用議論が本庁舎移転議論にすり替わった問題をどうとらえているか。候補者は市民に分かる言葉で訴えてほしいものです。

話題の新予算

- * 「ちっくん、ご当地ナンバー」を作成。50 ccバイクのナンバープレートに利用。
- * 「救急医療情報キット」を配布。高齢者で一人暮らしの要援護者に対し、災害や急病時に迅速な処置が出来ます。
- * 市民活動のネットワーク予算。複数の活動の有機的な結びつきを強化し、成熟した市民協働社会を実現。
- * 地域医療連携室を設置。新中核病院と他の医療機関、

介護施設福祉施設、行政等との連携推進、市民への医療情報の広報活動が任務。

- * 議会放映事業。インターネットとケーブルテレビで議会の様子を市民に伝える。
- * 学校支援員予算。深刻化するいじめ問題のスペシャリストを配置。

本庁舎改修予算を削除 市の最重要施設の耐震改修予算を否決。このままで良いわけはありません。市庁舎のあるべき姿を真剣に議論すべきです。

質問：本庁舎の耐震改修については、アンケートからも市民の支持を得ていると判断できます。しかし、議会ではスピカ売却と 3 支所への分庁舎移転案の対案としてスピカ本庁舎論があり、否定的です。市長の 2 つの提案を明確に撤回すれば本庁舎耐震改修の環境は整うのではないのでしょうか。

市長：スピカビルの利活用と本庁舎耐震補強は切り離して対応しなければならない。スピカビルについては改めて検討してゆきたい。

質問：アンケートでは 3 支所の整備を求める割合は 10% 未満だった。民意を尊重するなら 3 支所の分庁舎案を撤回

すべきではないでしょうか。

市長：3 支所の状況はそれぞれ違い、整備は実情に合わせて進めたい。3 支所の分庁舎化は今後再検討する。

質問：本庁舎の建替えの時期はいずれ来ます。その将来の移転先を南部とし、基金を創設する構想を先の議会で発言しているが今もそうですか。

市長：本庁舎の環境として交通アクセスは非常に重要である。筑西幹線道路は、将来の本市の発展を導くと認識している。安価な土地が取得できる南部は有力と考えている。基金については、本庁舎の耐震補強後に立ち上げていきたい。

質問：大田地区に昨年「アグリパーク筑西」が竣工しました。ここに農業支援センターが併設され今年度から市の予算が投入されています。事業の目的を伺います。

経済部長：この地域の農産物の情報発信、市民農園、後継者支援、農業者の縁組支援、農業廃材処理、放射能測定があります。

質問：最も重視する業務は何ですか。

経済部長：特産物の PR、情報発信拠点という位置づけです。また、地産地消の推進、農産物の消費者に対する安全安心の確保といった点です。

質問：新規就農支援事業にも予算が投入されています。概要を伺います。

経済部長：3 形態があります。経営開始型、経営準備型、雇用事業。当市で実施しているのは経営開始型であり、農業を新しく事業として始める若者の資金供給であり、実績は対象者 11 名、支給額 712 万円です。

質問：経済原則では、事業者が淘汰され減少していくことは肯定される。何故参入を支援するのか。

経済部長：10 年間の減少率が 40% を超えている。農地の集積より、耕作放棄地が増える恐れがある。